

# NPO スタッフの活動とソーシャル・キャピタルとの関連

## —NPO 法人スチューデント・サポート・フェイスを事例として—

佐賀大学大学院博士後期課程 張 舒

### 1 目的

ソーシャル・キャピタルを測定する尺度として、ボランティア組織・NPO への参加を用いる場合がある。しかし、この場合、NPO 組織外の一般人やNPO 利用者を対象とした研究がほとんどである。本報告の目的は、NPO 組織内に従事している人々の積極性や充実度とソーシャル・キャピタルとの関連を検証することである。

### 2 方法

そこで、データとして、NPO 法人スチューデント・サポート・フェイス (SSF) の職員とボランティアを対象に、子供・若者支援活動に対する積極性や充実度とソーシャル・キャピタルに関するアンケート調査の結果を用いる。SSF は佐賀県内において不登校やひきこもり、非行、ニート等の若年者の自立支援に取り組んでいる NPO 組織である。調査対象者は、SSF に所属する役員 4 名、常勤職員 42 名、非常勤職員 10 名とボランティア 5 名、計 61 名であり、質問紙と WEB 版を用いた横断的調査を実施した。調査期間は 2017 年 5 月下旬から 6 月上旬であった。

分析方法として、因子分析と相関分析を行った。具体的に、NPO スタッフの活動の積極性と充実度については、「子供・若者支援活動から受けた影響」と「子供・若者支援活動への心がけ」に関する質問項目に対して因子分析（主因子法、バリマックス回転）を行なった。結果として、6 つの因子を抽出した。その後、「各因子とソーシャル・キャピタルに関する質問項目」、「各因子と対象者の属性」、「ソーシャル・キャピタルに関する質問項目と対象者の属性」の相関分析を行った。

### 3 結果

分析の結果、ソーシャル・キャピタルの「信頼」要素において、「一般的な信頼」と「地域貢献」因子、「近所への信頼」と「支援対象との交流」因子、「友人への信頼」と「地域愛着・信頼」・「地域情報」・「外部組織との連携」因子、「同僚への信頼」と「地域貢献」・「地域愛着・信頼」・「地域情報」・「外部組織との連携」因子については、いずれも正の相関が見られた。次に「ネットワーク」要素では、「同僚との交流」と「組織外との交流」・「外部組織との連携」因子は正の相関が認められた。そして「互酬性の規範」要素について、「地縁活動」と「支援対象との交流」因子とも正の相関が見られた。

### 4 結論

以上から、NPO 組織で活動をする人々の積極性と充実度合いはソーシャル・キャピタルと相関関係があることが証明できた。つまり、他人への信頼感が強い人は、NPO 活動をすることで得られる充実感も高い。そして、同僚との交流が多い人は、NPO 活動において外部組織との連携も積極的である。また、地縁活動への参加が多い人は、支援対象との交流がもっと頻繁的であることが明らかになった。この研究結果は NPO 活動をより活性化するための方策をも示唆する。